



2022年3月20日発行

公益財団法人仙台YMCA
〒980-0822
仙台市青葉区立町9-7
Tel 022-222-7533
Fax 022-222-2952
www.sendai-ymca.org
発行人 / 村井伸夫
編集人 / 松島晃子

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS

4



仙台YMCA

会長 菅野 健

「新年度を迎えて」

仙台YMCAはみなさまからの大きな支援と様々な活動のご理解を得て、新しい年度を迎えることができましたことを感謝いたします。

2021年度公益財団法人仙台YMCAにおいては2020年同様、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、仙台YMCAバザー、仙台YMCAインターナショナル・チャリティーラン2021が中止となりました。しかしながら施設ごとにミニバザーの実施、チャリティーラン特製Tシャツとタオルを制作し販売するとともに、バザーやチャリティーランの趣旨の説明や支援へのご協力を併せて行うことにより、引き続き、放課後等デイサービスYMCAみらい・YMCAきぼう、フリックパーククラブ、YMCAコミュニティースクールへの支援をさせていただくことになりました。国際地域協力募金は、2021年度も街頭募金を行うことができましたが、毎年好評をいただいているじゃがいも・かぼちゃ販売や各施設で様々な特別プログラムを行い、メンバーや会員の皆様から多くの募金をお預かりすることができました。また、仙台YMCAチャリティーゴルフも昨年度同様、宮城県内の参加者を中心に78名の参加があり、多くのご支援を賜ることができました。仙台YMCAクリスマスは、トークネットホール仙台（仙台市民会館）で専門学校の留学生を中心にクリスマスプレゼントの贈呈とゲームで交流を深めることができました。コロナ禍にもかかわらず多くの方々にご支援をいただいたことに改めて感謝申し上げます。

コロナ禍において私たちを取り巻く環境は大きく変わっています。人とのつながり方、多様な手段によるコミュニケーション、新たな生活様式、新たな価値観等急速に変化しています。しかし、どのような時代にあっても私たち仙台YMCAの使命に基づいた活動の本質は変わりません。

今年度も引き続き、皆様のご理解とご支援をよろしく願いたします。



「選ばれる YMCA の幼稚園、専門学校、プログラムを目指して」

足かけ3年、新型コロナウイルス感染の収束が見えない中であっても、仙台にも4月8日に桜の開花宣言があり4月11日には満開が発表されました。

今年も3月10日にはYMCA国際ホテル製菓専門学校の卒業式が行われ、23名の学生が社会に巣立って行きました。新型コロナ禍の影響でオンラインでの授業を乗り越え、卒業制作の集いも開催できなかった学生たちでしたが、就職も90%が内定し、「2年間平和に過ごせたことにありがとう！」の感謝の言葉を残して卒業していきました。又、3月19日にはYMCA幼稚園の第80回卒園式が行われ、35名の卒園児が保護者と先生たちに見守られ、先生や友だちとのお別れを惜しむ涙もありましたが「さらよたかく」と「ピリーブ」を元気に合唱し、卒園していきました。

2022年度に入り4月9日には幼稚園の第81回入園式が37名の入園児と先生たち、制限された保護者の皆さんが出席して行われました。又、校名が変更になった国際ホテル専門学校ではビザの関係で入学式に間に合わなかった留学生を除きホテル科と国際おもてなし科の全員が出席し、上級生、教職員、役員、来賓の励ましを受け入学しました。

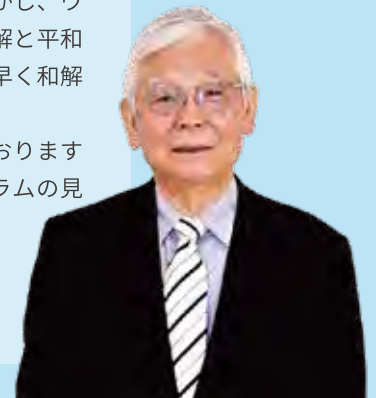
1988年（昭和63年）に開校した国際ホテル専門学校は今年で34年、幼稚園は81年を迎えました。この間、私たちは社会の変化に対応するため仙台YMCAの使命やYMCA専門学校のアドミッションポリシーを下に東日本大震災を乗り越え、新型コロナ禍と闘ってまいりました。しかし、ウクライナ戦争は今後の世界情勢に様々な影響が懸念されていますが、一日も早い相互の和解と平和が訪れることを願って止みません。（「あなたを訴える人と一緒に道を行く場合、途中で早く和解しなさい。」：マタイによる福音書5章25節）

学校法人では、幼稚園、ホテル専門学校、健康教育、生涯教育事業の4部門に分かれておりますが、今年度、大きく3つの事業方針と9項目の事業計画を定めて推進し、各部門のプログラムの見直しや、選ばれるホテル専門学校の経営と運営など、必要に応じ専門チームを設置して今後の対策を講じてまいります。皆さまのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

学校法人

理事長
清水弘一



「コロナ感染症蔓延下の保育園運営」

西中田、南大野田、加茂、長町の4園で394名（4月1日現在）の園児をお預かりし、運営しております。新型コロナウイルス感染症蔓延の状況のもと細心の注意をもって園児に接してまいりました。そして、職員はもちろん園児及び保護者にも感染者が見られず新年度を迎えることができ感謝です。（4月1日現在）

昨年度は将来事業構想（中期5か年、長期10か年）を作成し、施設整備のための資産の積み立て、安定かつ健全な施設運営と法人運営を開始しました。

2年目を迎えたYMCA長町保育園は、前年までは定員が充足しないため他施設の支援が必要でしたが、今年度は定員に達し地域に開かれた保育園運営を行っていくことが出来、嬉しく思っております。少子化のためか4月1日現在、定員が満たない園もありますが、今後も全園で可能な園児の受入れに努めるとともに、将来事業構想に基づいた、

- ①認定こども園への移行
- ②積み立て資産の充足
- ③長期施設修繕計画
- ④働き方改革の推進（パパ育児休業制度を4月から移行）
- ⑤関係機関との連携強化

などを進め、YMCAの良さが発揮できる運営を進めてまいります。

神さまの見守りのもと、子育てのパートナーとして保護者・子どもたちに寄り添ってまいります。

終わりに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。

社会福祉法人

理事長
工藤正剛



「仙台YMCAの総合力」

N
P
O
法
人

理事
村井伸夫

2008年度に法人認可を受けた特定非営利活動法人仙台YMCAファミリーセンターの活動は14年目を迎えました。立町会館を借館して活動をおこなう「アフタースクール」と発達障がい児支援事業放課後等デイサービス事業「みらい」、立町会館に隣接する建物の1階を借館しておこなう放課後等デイサービス事業「きぼう」、仙台市内小学校に隣接する「旭ヶ丘児童館」、「富沢児童館」、「西山児童館」の3児童館事業、そして2017年に富谷市から受託した「富ヶ丘放課後児童クラブ」、「日吉台放課後児童クラブ」の2施設を含め、8地域で事業運営をしています。富沢児童館は宮城県で登録利用者が最も多い児童館としてサテライトを含め4施設で運営をおこない、旭ヶ丘児童館と西山児童館も、登録利用者数の増加に伴い、本年度よりサテライトが開始されそれぞれ2施設運営となります。

新型コロナウイルス感染が大きな問題となっている現在、すべての活動が行政からの指導を受け毎日開所して継続しています。子どもたち、ご家族、スタッフがともに不安の中であって、互いに連絡を取り合い、感染予防を徹底し、チカラを合わせて過ごす日々が続きます。子どもたちの行動も制限される今こそ、今までと変わることなく、一人ひとりの違いを認め受入れながら、他者と協力して、誰かのために奉仕する場所であり続けたいと願ってやみません。本年度も、仙台YMCAがおこなう各法人事業が有する、健康、体育、野外、文化教養、国際、保育、障がい等の専門性を最大限に生かした子育て総合力を共有し、子ども、家庭、地域に貢献していく団体であるよう努力を重ねていきます。みなさまのご理解とご支援をお願い申し上げます。

終わりに、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈りいたします。



Column

仙台ワイズメンズクラブ

コロナ禍でも続ける 「BF 使用済み切手処理活動」 中川 典幸 さん



日本でも11番目に誕生した仙台ワイズメンズクラブ（1948年12月8日設立）に入会して間もなく20年になります。当初は、諸先輩方の立ち居振る舞いを追いかけてながら活動に参加していました。入会后、東日本大震災、仙台広瀬川クラブ誕生でメンバーが移籍し、諸先輩方の引退もあり、会員数は入会当初23名から13名に減少しています。高齢化と会員減少に歯止めがかからないのが今の一番の課題です。

新型コロナウイルス感染症の流行は当クラブの活動にも少なからず影響を与えています。例会回数は半分以下となり、講義形式開催となって暫くになります。当クラブの活動の支柱をなすYMCA特別プログラムへの支援・協力は可能な限り行っていますが、この2年半、「私たちができる活動」として継続できていることのひとつが、「BF使用済み切手処理」です。「BF」とはBrotherhood Fundの略で、国際役員など地域から他地域を公式訪問する旅費を賄うための基金です。使用済み切手を切手市場で換金し基金にする活動がBF使用済み切手処理です。最近、使用済み切手処理を行わずに直接現金を基金へ拠出するクラブが多くなりましたが、当クラブの中心となっているウィメン、メネットの願いである「月に一度、皆が顔を合わせ、皆の元気な姿と笑顔を眺め、雑談をしながら会食をする」という思いを大切に、コロナ禍であっても集まる機会を作り、使用済み切手を主活動に例会を行ってきました。例会中、ハサミの「チョコキ、チョコキ」という軽快なリズムはいいものです。今期の成果は16kg。本来であれば、10,200円の資金となったのですが、ある機関より大量に持ち込まれた昭和50年代の切手が多く混じていたことにより5,100円の支援に留まってしまいました。それでも、コロナ禍でゲストや様々な活動が困難となっている期間、諦めずに「BF使用済み切手処理」を続けていくことにしています。早くコロナが終息し、YMCA特別プログラムなどで多くの方々と一緒に楽しく活動したい気持ちを切手処理で抑えています。

入会希望者募集中です！どうぞ、お声がけください。使用済み切手処理にぜひご参加ください。

2021年度仙台YMCA大会を行います

< 予定 >

日時：2022年6月25日(土)
14:00-15:30

場所：立町会館4階ホール



企業説明会のご案内



お申し込みは
こちらのQRコードを
読み取っていただくか
お電話にて承ります！



5.21^土 要予約

10:00～12:00

児童館施設見学会 同時開催!!

見学施設：西山児童館・旭ヶ丘児童館

集合 / 10:00 仙台YMCA立町会館

解散 / 12:00 旭ヶ丘児童館

【企業説明会】(両日とも)

会場 仙台YMCA立町会館

住所：仙台市青葉区立町9-7

Tel：022-222-7634

HP：<https://www.sendai-ymca.org/>

2022年度仙台YMCA入職式

3月26日(土)10:00から、仙台YMCA立町会館4階ホールにて、2022年度仙台YMCA入職式が行われました。今年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症予防に努めながら執り行われました。式では礼拝の奨励を日本基督教団石巻栄光教会の川上直哉牧師からいただき、新入職員への励ましの挨拶として仙台YMCA会長の菅野健さん、学校法人理事長の清水弘一さん、社会福祉法人理事長の工藤正剛さんから頂戴しました。その後は、新入生代表の言葉をNPO法人新入職員の牧野千尋さん、迎える言葉をYMCA南大野田保育園の半澤明美さんから送られ、入職式を終えました。

(報告：本部事務局 小幡忠弘)



維持会費

(3月16日～4月15日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

◆一般会員

維持会員A 坂本 満 さん 千葉 睦雄 さん
阿部 順子 さん 布宮 圭子 さん

一般会員・サポート会員を
随時募集中です

ぜひ会員として、

仙台YMCAの活動をお支えください

お問い合わせ：本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952

仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に拡げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を拡げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。